

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、名古屋大学東山キャンパスに会場をお借りして開催します。充実した個人研究発表を各日に配しました。ぜひ討議にご参加ください。シンポジウムでは、古代哲学以来取り上げられ、分析哲学においても様々な考察が重ねられてきた「アクラシア」（無抑制、意志の弱さ）の現象を取り上げ、きわめて身近でありながら十分な現象学的分析のなされてこなかったこの現象に、現象学がどのようにアプローチしうるのかを考えます。坂下浩司氏、浅野光紀氏、吉川孝氏にご提題いただきます。北欧現象学会との交流もすでに伝統行事となりましたが、今年は特別講演者としてニコラス・スミス氏が参加します。二日目の午後には、力のこもった三つのワークショップが開催されます。いずれも刺激的かつアクチュアルなテーマです。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11月9日（土）

9:15-12:30 **個人研究発表**（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（文学部棟1階127室）

9:15 鈴木 崇志（京都大学）

告知と身体表現

10:05 八重樫 徹（日本学術振興会・大阪大学）

愛の価値と人生の意味

10:55 山口 弘多郎（大阪大学）

「幾何学の起源」における再活性化作用の二義性について

11:45 津田 良生（上智大学）

ハイデガーにおけるフッサール発生的現象学への態度と諸論点

第2会場（文学部棟1階128室）

9:15 峰尾 公也（早稲田大学）

前期ハイデガーにおける「現実性」概念の捉え直し

10:05 丸山 英幸（大阪工業大学）

ハイデガーの翻訳論について

10:55 鷲原 知弘（関西大学）

後期ハイデガーの思索と気分の問題

11:45 中川 萌子（京都大学）

「形而上学」に対峙するハイデガー

第3会場（文学部棟1階129室）

10:05 佐野 泰之（京都大学）

メルロ＝ポンティのソシュール解釈再考

——言語と間主観性の問題を巡って——

10:55 小林 徹（無所属）

出来事を経験

——メルロ＝ポンティとドゥルーズ——

11:45 國領 佳樹（首都大学東京）

メルロ＝ポンティの身体意識論

12:30-13:50 昼休み・第1回委員会

（文学部棟1階大会議室）

13:50-14:50 **【特別講演】（文学部棟2階237室）**

精神としてのヨーロッパを超える世界—超越論的先入

見と現象学—— The world beyond Europe as spirit:

Transcendental prejudice and phenomenology

ニコラス・スミス (Nicholas Smith) 氏

(Södertörn University, Sweden)

15:00-18:00 **【シンポジウム】（文学部棟2階237室）**

「意志の弱さ」は何を照らし出すのか？

——アクラシアの現象学——

提題者：坂下 浩司氏（南山大学）

浅野 光紀氏（立教大学）

吉川 孝 氏（高知県立大学）

司 会：斎藤 慶典氏（慶應義塾大学）

18:00 立松弘孝氏 感謝状授与式（文学部棟2階237室）

18:30 懇親会 会場：大学生協南部食堂2階 彩～Sai～

（会費4,000円）

11月10日（日）

9:00-12:15 **個人研究発表**（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（文学部棟1階127室）

9:00 越後 正俊（東北大学）

『イデーオンI』における形式的本質と形式存在論について

9:50 早坂 真一（神戸大学）

なぜフッサールは事態と状況を区別したのか？

——超越論的考察の意義——

10:40 池田 裕輔（立命館大学）

世界化と人間的主観性の逆説について

11:30 長坂 真澄（ヴッパータール大学・トゥールーズ大学）

アポリアの始まり

——若きデリダのフッサール『算術の哲学』読解——

第2会場（文学部棟1階128室）

9:00 内藤 麻央（早稲田大学）

現象学的存在論の方法

——還元から解釈学へ——

9:50 金成 祐人（慶應義塾大学）

ハイデガーにおけるカントの世界概念の批判と受容

10:40 多田 圭介（北海道大学）

ハイデガーのシェリング解釈

11:30 伊藤 良司（慶應義塾大学）

自然・運動・身体性

第3会場（文学部棟1階129室）

9:00 Simon Høffding (Center for Subjectivity Research in Copenhagen)

A taxonomy of absorption: Toward a phenomenology of expert musicianship

9:50 佐藤 香織（日本学術振興会）

レヴィナスにおける個体化の問題

——「近さ」を出発点として——

10:40 小手川 正二郎（日本学術振興会・明治大学）

レヴィナス『全体性と無限』における現象学的方法と存在論的言語

——「転回」神話への批判——

11:30 三ツ野 陽介（東京大学）

同一性と物語

——リクルの「物語的自己同一性」概念とパーフィットによる人格の同一性の批判について——

12:15-13:30 昼休み・第2回委員会
(文学部棟1階大会議室)

13:40-14:10 総会 (文学部棟2階237室)

14:15-15:00 個人研究発表 (発表30分・質疑応答15分)

第1会場 (文学部棟1階127室)

14:15 成瀬 翔 (名古屋大学)

心的ファイル・フレームワークにおける志向性
——指標モデルと信念帰属——

第2会場 (文学部棟1階128室)

14:15 横山 陸 (一橋大学)

マックス・シェラーにおける価値の現象学

第3会場 (文学部棟1階129室)

14:15 齋藤 征子 (名古屋大学)

『知覚の現象学』におけるメルロ=ポンティの「他者」概念の検討

——V・S・ラマチャンドランのミラーニューロンにおける「獲得性過共感」の観点から——

15:15-17:45 【ワークショップ1】(文学部棟1階127室)

「知覚の哲学——分析哲学と現象学の交差点——」

オーガナイザ：國領佳樹 (首都大学東京)

提題者：源河亨 (慶応義塾大学)

新川拓哉 (北海道大学)

山田圭一 (千葉大学)

特定質問者：植村玄輝 (立正大学)

15:15-17:45 【ワークショップ2】(文学部棟1階128室)

「科学技術の発展と抑制

——現象学には何ができ、何をすべきなのか?——」

オーガナイザ・提題者：鈴木俊洋 (上智大学)

提題者：金光秀和 (金沢工業大学)

寺本剛 (中央大学)

15:15-17:45 【ワークショップ3】(文学部棟1階129室)

「ユンガーとニヒリズムの今」

オーガナイザ：松本啓二郎 (大阪教育大学)

提題者：山本與志隆 (愛媛大学)

竹内綱史 (龍谷大学)

有馬善一 (摂南大学)

【会員休憩室】文学部棟1階130室

お知らせとお願い

1 会費納入 学会費 (年間3,000円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。

2 出欠の連絡 研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、10月26日(土)までに必ずお知らせください。

3 2012年度決算報告

【歳入】

【歳出】

前年度繰越金	2,592,738	『年報』出版費	492,083
納入学会費	1,290,000	『年報』編集費	7,910
『年報』売上	62,750	『年報』送料	48,710
立命館補助金	0	通信費	134,340
普通預金利息	128	企画・実行費	0
計	3,945,616	事務局経費	28,963
【次年度繰越金】		大会開催費	166,831
2,858,873		大会講師謝礼	0
		国際学会年会費	4,556
		事務謝礼	147,000
		会員名簿作成費	0
		事務局移転費	56,350
		計	1,086,743

第35回

研究大会

日時：2013年11月9日(土)・10日(日)
会場：名古屋大学 (東山キャンパス)

日本現象学会

事務局 〒602-8580
同志社大学文学部哲学研究室
Tel : 075-251-3371
Fax : 075-251-3059
E-mail : paj-office@pa.jp
郵便振替 00980-9-109153
HP: http://paj.jp/